



JAPANESE PATENT OFFICE

TAKESHI HIGUCHI

MECHANISM FOR PREVENTING
PROPAGATION ETC

DOCKET M1717-18

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 06187693

(43)Date of publication of application: 08.07.1994

(51)Int.Cl.

G11B 15/00

G11B 15/61

(21)Application number: 04353861

(71)Applicant:

FUNAI ELECTRIC CO LTD

(22)Date of filing: 16.12.1992

(72)Inventor:

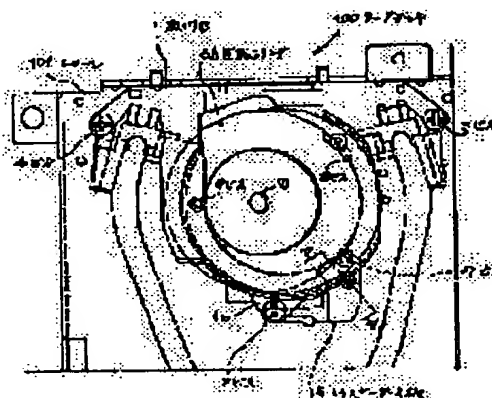
AOKI RYUJI

(54) TAPE DECK

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve workability at the time of assembling a tape deck, to make a deck light in weight and to reduce the cost by providing a mount made of a resin member, and a ground member locked in the mount and electrically connecting a fixed cylinder and a chassis.

CONSTITUTION: The ground member (cylinder ground plate) 15 is provided with a 1st connection part 15a connected to the fixed cylinder 6B and a 2nd connection part 15b connected to the chassis 101. Besides, an engaging part 15e engaged with the mount 1 is provided.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-187693

(43) 公開日 平成6年(1994)7月8日

(51) Int. Cl.⁵

G 1 1 B 15/00

15/61

識別記号

3 2 1 D

P

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平4-353861

(22) 出願日 平成4年(1992)12月16日

(71) 出願人 000201113

船井電機株式会社

大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

(72) 発明者 青木 龍二

大阪府大東市中垣内7丁目7番1号 船井

電機株式会社内

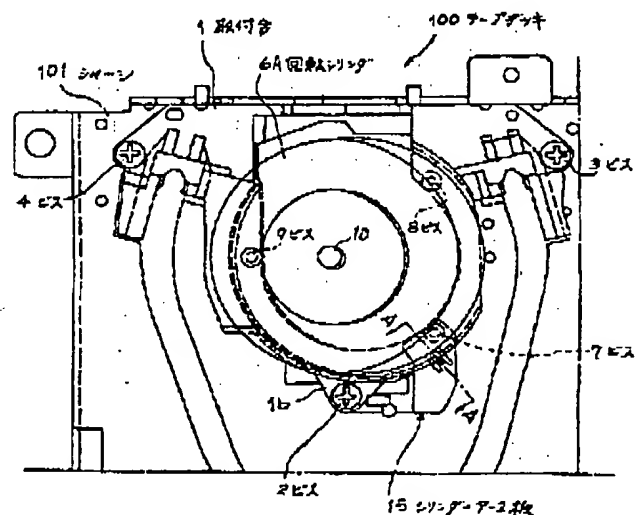
(74) 代理人 弁理士 佐藤 英昭

(54) 【発明の名称】 テープデッキ

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、テープデッキに関し、樹脂部材からなる取付台を設け、取付台に係止し、固定シリンダをシャースと電気的に接続するアース部材を設けることにより、組立時の作業性を向上すると共に軽量で低コストのテープデッキを提供することを目的とする。

【構成】 アース部材15は固定シリンダ6Bに接続する第1接続部15aと、シャース101に接続する第2接続部15bとを備えるとともに、取り付け台1に係合する係合部15eを備えるように構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ヘッドを有する回転シリンダおよび固定シリンダを備え、固定シリンダをシャーシに電気的に接続するアース部材を有するテープデッキであって、樹脂部材からなる取付台と、該取付台に係止する係止部を有すると共に一端側に設けられ固定シリンダに接続する第1接続部と、他端側に設けられシャーシに接続する第2接続部とを有するアース部材とを備えることを特徴とするテープデッキ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、テープデッキに関し、例えば、画像情報を記録及び/又は再生する磁気テープを操作するビデオテープデッキに関する。

【0002】

【従来の技術】従来のビデオテープデッキにおいては、一般に、図5に示すようなビデオテープレコーダのカセットデッキ30は、デッキシャーシ31上に記録再生ヘッドを有する回転自在なヘッドシリンダ32、カセット（図示略）のテープリールを係合軸支させる供給リール軸35及び巻取りリール軸36、テープリールから供給されたテープをヘッドシリンダ32に巻装させるために長孔レール37、38を介して摺動案内されるスライダ体39、40に立設されたテープローディングピン41、42を有している。43はオーディオ信号などを入力させる音声ヘッド、44は消去ヘッド、45はキャブスタン軸、46はピンチローラである。47はモードレバーであり、モードレバー47はカム体の回転により速係レバー48を介して往復摺動させられ、記録再生を行うテープ定速移動モード、テープ早送りモード、テープ逆戻しモード等の切り換えを行う。

【0003】従来のヘッドシリンダ32は上面が所定の角度で傾斜したデッキシャーシ31にビス止め固定されたアルミダイキャスト製の取付台51に回転軸52を傾斜させて取り付けられている。また、ヘッドシリンダ32は記録再生ヘッドを有する回転自在な回転シリンダ32Aと、該回転シリンダ32Aに固定された回転軸52を支持するボス部を有する固定シリンダ32Bとから構成されており、回転シリンダ32Aは回転軸52の下端に固定されたモータにより一定の速度で回転制御されている。また、固定シリンダ32Bは電気的にアースすることが望ましく、固定シリンダ32Bは取付台51にビスで取り付けられ、取付台51は、デッキシャーシ31にビス止めすることにより、固定シリンダ32Bはデッキシャーシ31に電気的に接続し、アースされている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来のテープデッキにあっては、取付台がアルミダイキャスト製であるため、アルミニウム部材のコストが高いばかりでなく、ダイキャストの作業に手間と時間が

かかり、製造コストが高くなるという問題点があった。

【0005】本発明は、このような従来の課題に鑑みなされたものであり、軽量で安価な樹脂部材を取付台とすると共に、取付台に係止し固定シリンダ及びテープデッキを電気的に接続する第1接続部、第2接続部を有するアース部材を設け、組立作業製が良く、かつコストの低減を図ることのできるテープデッキを提供することを目的とする。

【0006】

10 【課題を解決するための手段】本発明は、ヘッドを有する回転シリンダおよび固定シリンダを備え、固定シリンダをシャーシに電気的に接続するアース部材を有するテープデッキであって、樹脂部材からなる取付台と、該取付台に係止する係止部を有すると共に一端側に設けられ固定シリンダに接続する第1接続部と、他端側に設けられシャーシに接続する第2接続部とを有するアース部材とを備えることを特徴とするものである。

【0007】

20 【作用】本発明では、取付台が樹脂部材からなるので、多量生産ができ、また、固定シリンダに接続する第1接続部と、シャーシに接続する第2接続部とを備えるとともに前記取付台に係止する係止部を有するアース部材を設けてあるので、係止部を取付台に係止し固定した後、第1接続部及び第2接続部を夫々支持することなくビス等でネジ止めできる。

【0008】

30 【実施例】以下、本発明の実施例を図面に基いて説明する。図1から図4は、本発明に係るテープデッキの一実施例を示す図である。まず、構成を説明する。図1～図4において、100はテープデッキであり、テープデッキ100はデッキシャーシ101に固定された樹脂部材からなるほぼ三角形の取付台1を有している。取付台1はその外周の3箇所をビス2、3、4でデッキシャーシ101に固定すると共に、取付台1の上面の所定の角度で傾斜した上面上にヘッドシリンダ6の下側の固定シリンダ6Bを載置し、取付台1の下側より3個のビス7、8、9により固定するようになされている。ヘッドシリンダ6は記録再生ヘッドを有する回転シリンダ6Aと、該回転シリンダ6Aに固定された回転軸10を支持する筒状のボスを有する固定シリンダ6Bからなり、回転シリンダ6Aは回転軸10の下部にモータ12のロータ12Aを固定し、回転制御するようになされている。図1に示すデッキシャーシ101のヘッドシリンダ6の近傍以外は、図5に示すものと同じ構成であり、詳細な説明を省略する。

50 【0009】15はアース部材であるシリンダーアース板であり、該シリンダーアース板15は金属部材（例えばリン青銅）からなっている。シリンダーアース板15は図3、4に示すように、一端側に固定シリンダ6Bに接続するビスを挿入するビス孔16aを有し、取付台1

の傾斜に沿って傾斜する第1接続部15aと、他端側にデッキシャーシ101に接続するビスを挿入するビス孔16bを有し、取付台1の取付部1b上に平行な板状の第2接続部15bを有している。第1制御部15aと第2制御部15bとの間には両者を一体的に連結し、かつデッキシャーシ101の上面に密着可能な平面状の平板部15cを有している。平板部15cの第1接続部15a側端には取付台1の外周の筒状壁1aのほぼ内面に沿って垂直に立ち上がり、第1接続部15aに接続する立ち上がり部15dを有している。また、第1接続部15aの近傍で立ち上がり部15dに対向し、取付台1の筒状壁1aを挟持して係止する係止部であるフック15eが平板部15cから立ち上がるように形成されている。

【0010】そして、シリンダーアース板15の第1接続部15aのビス孔16aには、取付台1の下側からビス7が取付台1を通して固定シリンダ6Bに固定され、シリンダーアース板15を固定シリンダ6B電氣的に接続している。また、第2接続部15bのビス孔16bにはビス2からビス孔16bを貫通しシャーシ101にネジ止めされ、第2接続部15bをシャーシ101に電氣的に接続している。すなわち、固定シリンダ6Bはシリンダーアース板15を介してシャーシ101に電氣的に接続するようになされている。

【0011】次に作用を説明する。固定シリンダ6Bが取り付けられた取り付け台1は、樹脂部材からなり、電氣的な絶縁材料であるが、シリンダーアース板15を設けたことにより固定シリンダ6Bはシリンダーアース板15を介してデッキシャーシ101に電氣的に接続している。このため固定シリンダ6Bはアースに接続していることになる。また、シリンダーアース板15を固定シリンダ6B及びデッキシャーシ101にビス止めする際、シリンダーアース板15は取付台1のビス7の取付位置の近傍の周状壁1aをシリンダーアース板15の立ち上がり部15dとフック部15eにより挟持して固定するので、シリンダーアース板を特に手等により保持することなく、第1接続部15aをビス7により固定シ

ンダ6Bに固定し、第2接続部15bをビス2によりデッキシャーシ101に固定する。このためシリンダーアース板15は押えたり、保持する必要がなく、組立作業性が大幅に向上できる。

【0012】尚、上記実施例では、シリンダーアース板15の材料としてリン青銅を用いたが、材料はこれに限らず導電性であれば良い。

【0013】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、固定シリンダに接続する第1接続部と、シャーシに接続する第2接続部とを備えるとともに前記取付台に係止する係止部を有するアース部材を設けてあるので、取付台がプラスチック材料のような絶縁性材料であっても、アース部材を取付台に係止し固定シリンダをアースに接続することが可能となる。したがって、組立工数も低減し、組立作業性が大幅に向上できる。また、取付台は樹脂部材からなり安価で軽量の取付台を備えたテーブルデッキを提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るテーブルデッキの一実施例の一部平面図である。

【図2】図1に示す実施例の背面図である。

【図3】図1に示す実施例の要部のA-A矢視断面図である。

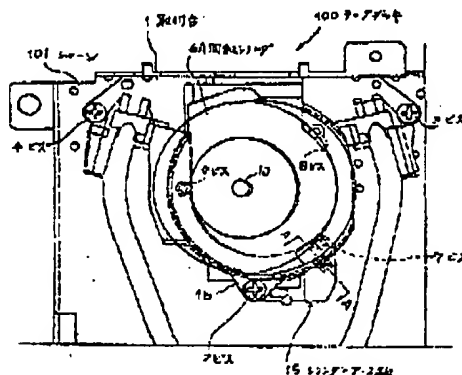
【図4】図1に示す実施例のシリンダーアース板の斜視図である。

【図5】従来のテーブルデッキの平面図である。

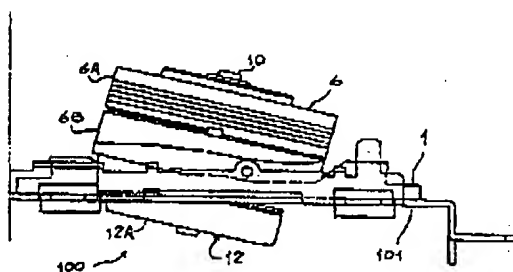
【符号の説明】

- 1 取付台
- 6A 回転シリンダ
- 6B 固定シリンダ
- 15 シリンダーアース板（アース部材）
- 15a 第1接続部
- 15b 第2接続部
- 15e フック（係止部）

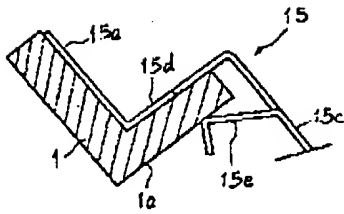
【図1】



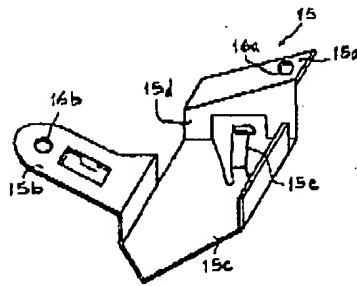
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

